

- 正会員** 26校5団体
- エリザベト音楽大学
 - 近畿大学工学部
 - 呉工業高等専門学校
 - 県立広島大学
 - 山陽女子短期大学
 - 鳥根県立大学
 - 日本赤十字広島看護大学
 - 比治山大学
 - 比治山大学短期大学部
 - 広島経済大学
 - 広島工業大学
 - 広島国際学院大学
 - 広島国際学院大学自動車短期大学部
 - 広島国際大学
 - 広島修道大学
 - 広島女学院大学

- 広島市立大学
- 広島大学
- 広島都市学園大学
- 広島文化学園大学
- 広島文化学園短期大学
- 広島文科大学
- 福山大学
- 福山平成大学
- 安田女子大学
- 安田女子短期大学
- 広島県教育委員会
- 広島市教育委員会
- 呉市教育委員会
- 福山市教育委員会
- 広島県私立中学高等学校協会

- 準会員** 3校
- 尾道市立大学
 - 福山市立大学

- 放送大学広島学習センター

賛助会員 60団体

- 紀伊國屋書店(中国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協中国・四国事業連合 / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルートマーケティングパートナーズ / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 熊平製作所 / 合同総研 / 丸善進松堂(広島支店) / 広島市信用組合 / 日建設計(中国支店) / 大日本印刷(情報イノベーション)事業部(中国営業本部) / 西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトブキシーティング(中国支店) / 近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店) / SMBC日興証券(広島支店) / 広島マナジメンタル / 呉信用金庫 / 中国電設工業 / A・I・C広島マネジメント / シェラトングランドホテル広島 / ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校 / オオケン / ムロオシステムズ / 山菊印刷 / ワイテック / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN事業部) / 中国放送 / マイティネット / パナソニックシステムソリューションズジャパン / アンデルセン / パン生活文化研究所 / SCSS / 廣告社(広島支店) / ゼネラルステール / 三菱地所設計(広島事務所) / JTB(広島支店) / オカムラ(広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コヨマーケティング(中国支店) / 田中電機工業 / アスティ / 大方工業所 / 日立製作所(中国支店) / イズミ

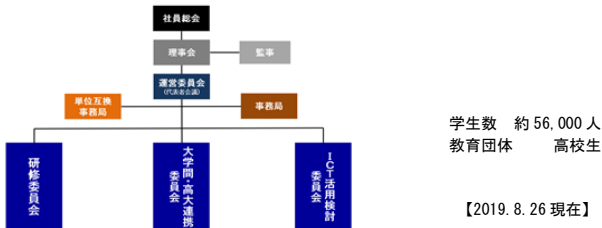
会費・参加費

- 基本会費 大学 22 万円(同一学校法人設置大学・短期大学 10 万円)短期大学 18 万円
高等専門学校 10 万円・教育団体会費 10 万円、5 万円、3 万円
- 規模別会費 学部学生数 1 人につき 60 円
(短期大学、県外大学、福山市尾道市の大学、高等専門学校は免除)
- 賛助会費 1 口 3 万円
- 準会費 3 万円
- 高大連携事業会費 1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

理事・監事

- | | | |
|------|-------|--------------------------------|
| 代表理事 | 焼廣 益秀 | (広島国際大学 学長) |
| 理事 | 小谷 幸生 | (広島経済大学 学長) |
| 理事 | 越智 光夫 | (広島大学 学長) |
| 理事 | 川野 祐二 | (エリザベト音楽大学 学長) |
| 理事 | 河野 修典 | (広島都市学園大学 学長) |
| 理事 | 瀬山 敏雄 | (安田女子大学・安田女子短期大学 学長) |
| 理事 | 田中 宏二 | (広島文化学園大学・広島文化学園短期大学 学長) |
| 理事 | 長坂 康史 | (広島工業大学 学長) |
| 理事 | 中村 健一 | (県立広島大学 学長) |
| 理事 | 旗手 稔 | (近畿大学工学部 学部長) |
| 理事 | 三上 貴教 | (広島修道大学 学長) |
| 理事 | 湊 晶子 | (広島女学院大学 学長) |
| 理事 | 若林 真一 | (広島市立大学 学長) |
| 監事 | 石井 眞治 | (比治山大学・比治山大学短期大学部 学長) |
| 監事 | 経孝 | (広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学部 学長) |
| 監事 | 森下 要治 | (広島文教大学 学長) |

組織図



教育ネットワーク中国 —連携・協力・共助をめざして—

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高教育機関が連携・協力することにより、広島の高教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちににより多くの学習機会を提供することを目的として 1998 年に設立され(設立当初組織名: 広島県高等教育機関等連絡協議会)、本年で 22 年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してまいりましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申し上げます。

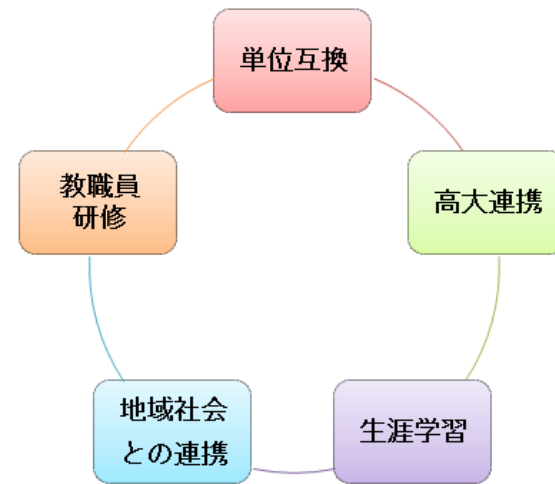
教育ネットワーク中国の事業は大学・短期大学、地方公共団体、高等学校、企業など、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、会員の皆様の連携と協力、助け合いによって成り立っています。

設立から現在まで

- 1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 4. 1 広島県高等教育機関等連絡協議会発足。広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30 の大学・短期大学が参加。事務局を広島県生涯学習センターに置く。
- 1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002. 4. 1 広島県高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
- 2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。
- 11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 6. 17 教職員研修会を開始。
- 2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始。教育ネットワーク中国設立 10 周年。
- 9. 15 第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: 広島修道大学)
- 2008. 3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
- 8. 20 文部科学省「戦略的大学連携支援事業」採択。(～2010 年度)
- 12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009. 4. 1 南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
- 5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。(～2011 年度)
- 2011. 4. 1 一般社団法人登記(一般社団法人教育ネットワーク中国と改称)広島県留学生活躍支援センター設置。折りづるみこし連参加。(～2018 年度)
- 2012. 4. 1 広島県留学生活躍支援センターをひろしま国際センターへ移管。
- 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
- 2013. 4. 9 広島県民文化センター5 階に開設されたサテライトキャンパスひろしまに単位互換科目・高大連携公開授業、公開講座・生涯学習講座を提供。
- 2014. 4. 1 広島県教育委員会加盟。
- 2015. 8. 7 シャレオ大学生コンサート開催。
- 2016. 4. 1 尾道市立大学、福山市立大学準会員加盟。
- 2016. 9. 10 第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: エリザベト音楽大学、広島国際大学 広島キャンパス)
- 2017. 4. 1 一般社団法人教育ネットワーク中国設立 20 周年。
- 2018. 4. 1 福山大学、福山平成大学、福山市教育委員会加盟。
- 2019. 4. 1 放送大学広島学習センター準会員加盟。



**一般社団法人
教育ネットワーク中国
2019**



ロゴマーク

【コンセプト】
 教育ネットワーク中国の教育 (education) の e とネットワークの n(N の小文字) と中国の c を基に制作しました。小文字 n をその形から橋のイメージを意図したフィクション、ノンフィクション問わず橋を大勢の人々で協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。その橋の左の卵形をした e から何か新しいものが生まれて橋を渡っていくようなイメージです。設立 10 周年記念の公募で選定しました。



〒730-0803
 広島市中区広瀬北町 9-3
 広島修道大学インターナショナルハウス内
 TEL : 082-533-7590 FAX : 082-533-7591
 E-mail : office@enica.jp URL : http://www.enica.jp/

単位互換事業

自大学に開講されていない授業科目や学びたい他大学の授業科目を受講することを目的としている。
単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。
2000年度から「ボランティア活動」（マツダ財団寄付講義）を開始。
2003年度から大学院単位互換を9大学14研究科30専攻が参加して開始。
2005年度から教職課程科目の提供を始める。
2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」（中国新聞社寄付講義）を開始。
2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。
2010年度から後期提供科目の追加募集を始める。
2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

特色ある科目

- *中国新聞寄付講義 広島国際大学「現代社会を考えるⅠ」
- *マツダ財団寄付講義 広島女学院大学「ボランティア活動」
- *サテライト科目（広島工業大学「学外研修（グローバル化とIoT・AI）が変える「ものづくり」」ほか）
- *教職課程科目 エリザベト音楽大学「教育原理」
- *広域型単位互換科目（南大阪地域大学コンソーシアム「キャリアと社会」・「高野山で学ぶキャリアとわたし」）

履修者数

包括協定校 24校 ※広域型単位互換2校を含む

	1999年度	2016年度	2017年度	2018年度
提供科目数	86科目 →	241科目	247科目	226科目
①延べ履修者数	213人 →	145人	86人	44人
②実質履修者数	164人 →	114人	69人	34人

高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。
提供科目は公開授業（大学の正規の科目）と公開講座（高校生のための科目）から構成されている。

経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。
2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。
2003年度から広島大学附属高校と高大連携協定を締結し153校となる。
2005年度から岩国地区の高校と高大連携協定を締結し157校となる。7月18日以降に開講される授業、講座の二次募集を開始。
高大連携委員会の設置。高大連携研究交流会の開催。
三原尾道地区で高大連携公開講座を開催。
2007年度からは備北地区3会場で中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講。
2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。
2009年度から高大連携遠隔授業を中山間地区の高校と実施。（～2018年度）
2014年度からサテライトキャンパスで「大学フェアひろしま」を開催。
広島県教育委員会と高大連携協定締結。（新制度）
2015年12月に広島大学附属福山高校と高大連携協定締結。
2016年12月に岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定締結。

公開講座 (申込者数)	公開講座 (申込者数)	科目等履修 ※公開授業に含む
2002年	92講座 157人	24講座 153人
↓	↓	↓
2007年	120 201	78 1,299
2017年	60 26	113 1,397
2018年	54 20	115 2,153



大学へ行こうウィーク

おおむね8月1日～10日の間に開講される授業、講座を、「大学へ行こうウィーク」としてチラシを作成し広報。
[2018年度：公開授業3大学3科目・公開講座12大学3短大61科目]

備北地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

- ・7月の平日または土曜日に開催（三次地区・庄原地区・安芸高田地区）
- ・中学3年生も受講可能な科目
- ・キャリア講座「大学卒業後の進路講座」



高大連携遠隔授業

（2018年度事業終了）
・大学と高校をインターネット回線で結び双方の授業を実施。
[実施大学：広島経済大学、広島修道大学・実施校：三次高校、庄原格致高校]

<備北地域実施状況> ※安芸高田地区は西日本豪雨災害のため中止

公開年度	中高大連携公開講座 (受講者数)	高大連携遠隔授業 (延べ受講者数)
2007年	56講座 1,302人	
2009年	63講座 1,564人	13講座 353人
2017年	62講座 1,320人	4講座 108人
2018年	39講座 1,193人	5講座 107人

高大連携研究交流会

高校と大学の連携を促進するために2005年より開催。

「アクティブ・ラーナー育成に向けた「教・職・学」の協働」

[2018年度参加者：高校関係17人、大学関係（会員校）12人、その他18人、合計162人]

生涯学習事業

経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。
2003年度から講座情報をホームページで公開。
2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。
2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あたらに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン（講座情報）配信開始。
2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。
2014年度より「ばれっとカレッジ」を休止、サテライトキャンパスを会場とする「サテライトカレッジ」を開講。

ひろしまカレッジ

IC受講証を活用し、受講受付・受講履歴の確認



メールマガジン（講座情報）配信

[登録者数 約343人・配信数10]

2018年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像 他	研修会		
登録者数	484	356	164	495	880	2,379
延べ受講者数	1,273	1,450	593	489	1,414	5,219

- ①シティカレッジ 11 (43) ※広島市・(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部と共催
- ②サテライトカレッジ 8 (63) ※サテライトキャンパスひろしまで開講
- ③エニカカレッジ これからの教師像Ⅰ(5)、金融講座Ⅰ(4) 研修会 8 (8)
- ④大学で開講する公開講座 8 (22) 合計 37 (145)

ICカード受講証を活用していない講座を含む。()内はコマ数を表す。

地域社会との連携

中国新聞キャンパスリポーター制度

- ・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材し、中国新聞紙面「キャンパスリポーター発」やサークルやクラブ活動を紹介する「サークルFILE」の記事を投稿。
- ・「学生リポーターが聞く」地元企業のトップへのインタビュー記事を掲載。
- ・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施。
- ・中国新聞キャンパスリポーター交流会の開催。
- ・年間を通して優秀な学生を表彰。（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）



[2018年度新規登録15校50人、在籍者数19校158人]

「大学競宴！シャレオ大学生コンサート」

「広島の大学生の歌声や演奏で広島の街を盛り上げたい」学生たちによる合同コンサートをシャレオ中央広場で開催。
第7回は広島市中区 花と緑で彩る「なかちやん音楽の輪」と共催し実施。

[2015年5校で開始、2016年度より9校参加]



ひろしま地域カード連携コンソーシアム 2012年4月6日設立

中国新聞社・PASPY運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国（幹事会員）各種カードの連携による地域活性化に向けて活動及び会員向け勉強会を開催。

教職員研修

	2006年度	2009年度	2017年度	2018年度
講座数	7講座 →	5講座 →	6講座	8講座
参加者数	385人 →	386人 →	514人	489人

日程	2018年度 教職員研修会 テーマ	参加数
第1回 6/2 (土)	「〇〇な職員になろう!!」(新人職員(概ね入職5年未満対象)研修) 講演:「多様性の中の一致~教職員の連携と協力~」 グループワーク	37
第2回 8/21 (火)	「日本および各国のFDの現状と課題」	18
第3回 9/12 (水)	高大接続型入学システムの戦略設計 一学びのモチベーション力から見る追手門学院大学の事例— 講演:「高大接続型入学システムの戦略設計」 ※比治山大学・同短期大学部との共催	94
第4回 9/22 (土)	「あなたの職場で、人は育っていますか?」 講演:「人材育成とSD」 グループディスカッション ※大学行政学協会地区研究会との共催	45
第5回 12/8 (土)	グランドデザインを如何に読むか —教育改革、内部質保証の前進に向けて— ※大学行政学協会地区研究会との共催	35
第6回 2/21 (木)	「ティーチング・ポートフォリオ (TP) って何だろう?」 TP・SPチャート作成ワークショップ	33
第7回 3/1 (金)	「アクティブ・ラーニングと学修成果の可視化がもたらしたものは?~APテーマⅠ・Ⅱ複合型選定校 京都光華女子大学短期大学部の取り組みから~」 —教員・職員・学生の役割— ※比治山大学・同短期大学部との共催	65
第8回 3/8 (木)	アクティブ・ラーナー育成に向けた「教・職・学」の協働 基調講演:「生涯学び続ける自律的な学修者の育成 —教員・職員・学生の役割—」 ※県立広島大学・高大連携研究交流会との共催	162

[2018年度 20会員校 437人、他大学ほか 52人、計 489人]